

平成 29 年 6 月月例記者会見

会見記録

1. 記者会見内容について

【 説明 】

【生駒国二十箇所巡り 子育て御朱印帳】

市長 1つめなんですけど、後ほどデモも少し見ていただこうかと思いますが、タイトルからしてちょっと不思議な感じがしますが、「子育て御朱印帳」です。

これは何かと言いますと、目的としては、資料の冒頭 3 行のところに書いていますけれども、どうしても子育て世帯のお父さんお母さんが家で子どもを見ていてなかなか結構大変だというような時に、なるべく外へ出ていただく機会を作れないかと、孤立した子育てを防ぐことが出来ないかということが 1 つ。

もう 1 つは、生駒市ではいろいろな子育ての関係のイベントだったり場所だったり、そういう所がございますし、いろいろな支援事業もありますので、そういうものを知らないうちに子どもが気が付いたら大きくなっていて、大きくなってから気付いたとかですね、それは非常にもったいないので、そういうものを知っていただくという大きく 2 つの意味を持って、今回この御朱印帳というのをやります。

いろいろな子育ての助けになるような場所・相談できる場所、いろいろな事業・イベント、そういうものを是非知っていただくということで、スタンプラリー形式で回っていただいて、いろいろな所に顔を出していただいた方に景品をお渡しをするような事で、先程申し上げたような目的を達成したいと思っております。

私がまずいろいろ申し上げるよりも多分、画面を見ていただいた方が圧倒的に分かりやすいと思いますので、デモの方をお願いします。

市担当者 まず、今回作らせていただいた御朱印帳のデモなんですけども、市民の方が各拠点の施設に集まっていた時、子育てイベントに参加していただいた時などに、このお手元にあるデモのようなポップを各施設に配布させていただいています。このポップに載っている QR コードをご自分のスマートフォンで読み取っていただくとスタンプラリーのサイトに飛びまして「スタンプしてよろしいか」という案内が出ますので、ここで「はい」を押していただくと「スタンプゲット」となります。事前に個人情報の登録であったりだとか、アプリのダウンロード等が必要ありませんので、簡易的にスタンプを集められる仕組みになっています。このスタンプがたまると、こういう形で行った施設に赤い旗が立ちますので、規定の個数を集めると特典と引き換えという形のシステムになっています。このアイコン 1 つ 1 つをタップしていただくと、この施設がどういう施設であるかということと、その施設の市ホームページへのリンク先も張っていますので、イベントの周知につながると考えています。特典ですが、今回設定させていただいたものが 2 つありまして、1 つめが生駒市指定のゴミ袋、有料になった分を 150 と 300 各 1 枚ずつと、生駒市の特産品が当たる抽選券となっております。特産品は月に 1 回当たるんですけど

も、内容としてはレインボーラムネと高山かきもちのセットであったりだとか、1,000円程度の生駒市の特産品が当たる抽選券を1枚プレゼントさせていただきます。

市長 もしよろしかったら、是非1度このデモサイトを実際に見ていただくと良く分かると思います。子育てしやすい生駒市内の場所、子育てのイベントとか、そんな所を20ヶ所設定しています。そういう所に行ったら、先程ございましたけれども、統一したデザインのこのQRコードが置いてあるので、スマホで読み込むだけです。アプリをダウンロードしてとか、自分の名前を登録してとかないので、ただ行ってQRコードを読み取ったり、イベントであれば、そのイベントを背景にして自分の子どもの写真を撮るとかでもいいんです。そういう証明をしていただければゴミ袋は全員ですね、あとは、ラムネが入ってる生駒のお土産セットが抽選で月に1名当たるということです。とにかく、子育ては各ご家庭はもちろん、地域で楽しんでやっていただきたいということです。

また、資料の1番下にございますけども、キックオフと言いますか1番初めのスタートとして、7月3日にみっきランドで、たけまるくんを探すというイベントをやります。昨日もたけまるくんと特殊詐欺のイベントで一緒だったんですけども、すでに背中にQRコードが貼ってあったんですけど。たけまるくんの背中に貼ったQRコードをみっきランドで写真に撮ってやるというのが、多分1番目のイベントになるかと思います。私も行こうかと思ってます。7月3日の1時半からみっきランドでありますので、どんな感じでスタンプラリー使ってお父さんお母さんとかがやってるのかというような雰囲気をも、もし見ていただけるとい方は是非お越しいただければと思います。少し、こういう取り組みが全国に広がっていけばいいかなと思います。担当と一緒に考えた取り組みでございますので、是非、ご趣旨を含み置きいただきまして、ご取材いただければ有難いなと思っております。

【図書館とまちづくり提案事業第2弾 『お茶会@北分館×茶釜のふるさと』を開催】

市長 2つめが、図書館とまちづくりワークショップの第2弾ということです。第1弾は、明日実施するんですけども、「本棚のWA」というイベントと別に、昨年行いました図書館のワークショップで出て来た提案を具体的にする第2弾ということで、図書館でお茶とか茶釜とかそういうものを学ぶような機会を開催してはどうかというお話がありました。元々は、例えば駅前の図書館のテラスでお茶席をしたらどうかというような話から始まったんですけども、それだけでは、ちょっと捨りがないかなとか、いろいろと議論していく中で、そもそも生駒市のお茶とか茶釜という文化というのはどういうことなのか、とか、実際茶釜を作ってみたりしようかとか、作ってる方の話を聞いたりしてみようかとか、いろいろな事がアイデアとして出てきて、一通りそういう事を自分たちで勉強したり体験したりして、最後、お茶を図書館で飲むという、そういう一連の流れが出来ました。これも、前回「本棚のWA」の時も申しあげましたが、一つのすごい点としてPRしたいのは、市役所だけでやってるのではなくて提案した市民の方から今回この事業を行うにあたってお力をいただいております。「高山茶釜の会 Wi-Wi」というらしいんですけど、そういう方たちが集まってその企画と一緒にやっていただいているところがポイントかと思います。具体的な取り組みの内容といたしましては、その資料の真ん中ぐらいからありますけども、小学校4年生以上の子どもさんと保護者が対象となるんですが、8月19日からほぼ毎週土曜日にイベント企画をしております。1番初め8月19日は、そもそもお茶というものは何かという話を聞いて、お茶も実際飲んでみたり。高山の茶釜の話とかお茶の話を、図書館のイベントですから図

書館でしっかり本で調べてみようという学習を行います。その次の週には実際に高山の茶釜を自分たちで作ってみるという経験をした後、その次の週の9月2日には環境省でも里山里地として高山は非常に優れているというような評価もいただいておりますが、そういう竹も含めた高山の里山里地の良さを自分たちの目で見て回るといような事。あとは茶釜の新しい使い方ということで、茶釜でカプチーノを点てたりするようなことも最近やっていますので、そういうようなものも経験した上で、最後に9月16日に今度はお茶をいただくだけではなくて、実際に自分で作った茶釜だとか、そういうものを使って自分でお茶を点ててみよう、受動的に受ける側から能動的に動くような、1番初めはお茶をいただいたけども最後は自分でお茶を点てたと、いような流れができるのかなと思います。非常に生駒らしい素晴らしい取り組みかなと思って、この第2弾というものを早期に実現をしたいと思って今回の提案になりました。是非、ご趣旨ご理解いただきますことと、本当に市民の方に入っていて汗をかいていただいているという所も大きなポイントだと思いますし、単にお茶席を設けておしまいということではなくて、自分で点てられるように、それにつなぎ込む途中のプロセスというのを非常に練っていただいていると思います。ぜひ、8月19日から始まるこの取り組み、現場の方へご取材いただければ幸いです。

【市民が先生 コミュニティセンターが1日限りの『街の学校』に！ だれもが学べる『IKOMAサマーセミナー』を初開催】

市長 3つめが「IKOMAサマーセミナー」です。生駒市は非常に市民の方がいろいろな取り組みをやってくださる本当に市民力の高い地域ではあるんですけども、是非、それを一歩踏み込んだ形で「生駒の街の学校」といものを夏休みに出来ないか、ということでございます。

実際に今、兵庫県尼崎市とかいくつかの自治体でこういう市民の方が市民の方に自分達の仕事であったり、趣味であったり、得意な分野を生かして講義をする。それを市民の方が聞きに来て、子ども達も聞きに来ていような、そういう街の学校といのをやってる所がありますが、生駒市でも本当にいろいろなすごい人がいるので、そういう人を、発掘といと失礼ですけども登場してもらって「生駒には、こんな人が居てる！」と気付きもあると思いますし、実際に講師をしていただくような方は日頃のそういう経験・知見を改めて見直して披露する場であったりとか、それを聞いた方が「すごい勉強になったな」といのはもちろんですし、実は期待しているのは、それを聞いて「来年は自分も先生をやりたいな」、「企画をしてみたいな」といような人が出てきたり、先生をした方がお話しした内容で今度は市民活動の方に具体的に活動していただいたりとか、そういう風な事がこのサマーセミナー一発ではなくて、そこからどンドン広がっていくのではないかと考えています。

人材発掘してここで先生をしてもらったような方がまちづくりの次の具体的な担い手になっていくような事とか、お話を聞いた方が今度は講師になろうかといようなことで、まちへの関わり方が少しずつステップアップするいような一つの機会にしたいなと思っております。

具体的には7月30日の日曜日1日限りではありますが、今回はコミュニティセンターでやります。将来的には出来ればどこかの学校で出来たらいいなと思ったりもしています。講座例としていくつか挙げています。面白そうなんですけど、プログラミングの基本を学ぶとか、さっきもありましたけど茶釜のお話とか、美味しいコーヒーの入れ方、運動神経が良くなる親子遊び、テレビ番組の作り方、これは多分現役の方ですね、テレビマンの方。55講座あります。私もお声がけをいただきましたので、何をしゃべったらいいのかとい事を皆さんで考えてくださいと言ったら、何故か大使館勤務の時の大使館の

裏話をしゃべってくださいという風にお話をいただいたので、私も貴重な一コマをいただきまして、お話をさせていただきたいと思います。

あとは、学校なので何となく学校感があるといいなあと思ひまして、健康づくり推進員協議会の皆様にご協力をいただいて地元野菜を使ったカレーライスを給食という形で出していただく。また、1限目から5限目まで全部出た人は皆勤賞としてお渡しをするというような事。そんな事も考えてございます。非常に楽しいイベントになると思ひますので、当日、是非ご取材いただければ幸ひでございます。

【生駒市産学官連携プロジェクト】

市長 4つめの生駒市産学官連携プロジェクトであります。すでにご案内のとおり生駒市は帝塚山大学と生駒商工会議所、あと観光協会と協定を結んでおりまして、主に観光面とか市内の産業の活性化ということで協定を結んで力を合わせて取り組んでおります。実際、駅前に出来ましたイコマドの施設の立ち上げや、あと運営に関してもいろいろなご支援・ご指導・ご協力をいただいておりますが、今度、その1つ踏み込んだ具体的な取り組みとして7月から大きく3つの取り組みを進めていきたいという風に思っております。

資料を見ていただきまして1つめが連携講座でございます。全9回を予定しております、基本的には帝塚山大学の各部ご専門の先生方、もしくは帝塚山大学が連携をしております様々な機関の方に来ていただきまして、市民や市内事業所で勤務している方を対象に講座を開いていただくということでございます。基本的には、今回は産業振興、特にイコマドが出来ましたので創業とか起業支援というような事でありまして、そんなところを働き方というような事でどういう風に働いていくのかというような事、そういう所が一つの大きなテーマだと思ひますけれども、9回の講座を行うという事でございます。現在、まだ詳細については調整中でございますので詳しい内容につきましては、また経済振興課の方にお問い合せいただければと思ひます。

2つめが、映像オンライン経営相談「イコマブランチ」という名前になってますけれども、イコマドはテレワークの機能も持っていますし、実際に足を運ばなくてもテレワークでテレビ会議みたいな形でいろんな経営相談も出来るんじゃないかということでございまして、帝塚山大学とオンラインでつながって、例えばいろいろな経営相談を帝塚山の専門の先生にさせていただくとか、そういうような事を考えております。これが2つめです。

最後、サロネーゼという言葉がありまして、女性の方が当然多いと思ひますが、自宅を活用して、例えばパン教室をしてみたりとか、さらには何か自宅を少し改装してお店として何かスイーツを売ったりとか、アクセサリーを売ったりとか、そういうような形の取り組みをサロネーゼという言い方をするそうでございますが、自分の得意な事を一歩踏み込んでビジネスにさせていただくような一つのやり方として、このサロネーゼが非常に注目されております。生駒市内でもいろいろな方がこういう沙龙的な活動をしておりますが、そういう先輩方に講師になってもらって、自分でもこういうのをやってみたいなあという方を応援するのがサロネーゼカフェであります。具体的には、グラフィックデザイナーでご著書も今非常に人気になっておりますデザイナーの平本さん、後は、生駒のお土産グランプリのグランプリを獲られたたけひめプリンのお緒方さんとか、こういう方のお話を聞きながら、自分達でも何か出来るんじゃないかというような事を考えていただく、そういう場にしていただくのがサロネーゼカフェでございます。

大きく 3 点でございますけども、詳細については、まだそれぞれ調整中のところもございますので、また引き続き経済振興課の方でフォローをしていただければという風に思っております。

〔プレミアムノー残業デー クールアース・デー ライトダウン7月7日夜7時、市役所完全消灯〕

市長 私からの最後ですけども、プレミアムノー残業デーと書いております。また、後ほどクールアースデーライトダウンの話も少しご紹介しますが、元々は7月7日の七夕の日に天の川が良く見えるように節電の意味も込めて電気を消そうというキャンペーンを環境省とかがやってはいるんですが、ちょうど今年は働き方改革の年でもありますし、生駒市でもいろいろな残業削減の取り組み、働き方改革の新しい提案・取り組みやっておりますので、それを両者掛け合わせたらどうかという事で、こういうプレミアムノー残業デーというのをやります。

プレミアムフライデーにも引っ掛けてる感じもありますが、今までもノー残業デーというのは設定して主に水曜日、いろいろな声かけとかをしているのですが、水曜日は確かに残業は少し少ない傾向にはあるんですが、ノー残業デーだけ残業が若干あるということで、この7月7日は特にしっかりとノー残業デーを徹底する日という事にしたいなと思っております。今、申し上げたように1つは働き方改革です。生駒市は昨年12月に県内で初めてのイクボス宣言というのをやりました。そして、時間外勤務の削減というのはこの5年間、次のページに少しデータを示しておりますけども、93000時間ぐらいあったのが、最近、若干増えてるのですが70000時間台になってますし、いろんな取り組みをしております。また、イクボス宣言した後に、父親の配偶者出産休暇とか、妻の産休中育児休暇とか、短期の休みではありますけども、こういう休みを100%職員が取得したことも実績です。こういう働き方改革の取り組みと生駒市はご案内の通り住宅都市初めての環境モデル都市でございますので、このような環境面、そして働き方改革というものを合わせた取り組みをこの7月7日にやりたいと思います。

具体的には、7月7日の5時15分から人事課はもちろんなんですが、職員の労働組合の方も趣旨にご賛同いただいてまして、一緒に今日はノー残業デーだから早く帰りましょうという事の声かけをきちんとしていただきます。その上で、7月7日午後7時に完全に生駒市役所のライトを全て消すという事をしたいと思います。

では、それでお終いかというとそうではなくて、午後7時に全部暗くなってしまいますのですが、市役所の入口を予定しておりますがキャンドルとかランタンとかを点灯します。このキャンドルというのが、それぞれストーリーがありまして、エコキャンドルの方は、今、生駒市は近畿大学と包括協定を締結しておりますけども近畿大学の大学生の環境サークルの「E c o C r e w」というのがあります。その学生たちが生駒の子どもたちに天ぷら油の廃油とかそういう物を使って出来るキャンドルの作り方を教えてくれますので、7月1日ですけども、そこで出来たキャンドルをこの7日に灯したいと、子どもたちと大学生と一緒に灯したいと、これが1つです。

もう1つは、ソーラーランタンというのがあります。昼間の太陽光で充電しておいて夜光る、そういうランタンなんですけども、これも6月25日の環境フェスティバルの工作教室で実は小学生が作る事になっております。なので、せっかくそこで作っていただくので、出来れば作った子どもたちにも来てもらって、昼間充電してもらって、夜LEDで光るライトを真っ暗になった生駒市役所に持ってきてもらって、電気の大切さであるとか、そういうものを体験していただいたり、後は、最後それも消えた時に空に天の川が綺麗に見えたらいいなと思いますけども、それは、お天気との相談もありますが、そ

んな取り組みを7月7日に考えておりますので、また、是非ご取材の方をいただければ幸いです。

私からは以上でございます。

【 質 疑 応 答 】

〔生駒国二十箇所巡り 子育て御朱印帳〕

記者 ご朱印帳なんですけども、これはイベントごとでもスタンプがたまると、同じ場所に行っても場所を変えなくてもその特典はもらえるという理解でよろしいでしょうか。

市長 その資料の真ん中にありますように、場所自体QRコードを置いてある所としてみっきランドとか南の小平尾南児童館は、ずっと置いてあるんです。場所でQRコードが取れるという所もあります。後は、イベントとして各図書館のおはなし会とかみっきランドであるイベントとかも・・・1回目はみっきランドという場所で1個取れて、たけまるくんで1個取れると2個取れるということになるかもしれませんが。場所というのを知ってもらいたいし、イベントとかもあるよというようなことで、そういう意味では両方あるのでQRコードを置いてある場所で何かイベントする時は2個取れるということになると思います。

記者 同じ場所でもイベントが変わればもらえるか？

市長 そうですね。はい、同じみっきランドで別のイベントがあるか今は分かりませんが、そういうものがあればそのイベントで新たに1個QRコードを取るということになると思います。

記者 もらえるスタンプ数に応じてゴミ袋が増えていくという理解でよろしいのでしょうか？

市担当者 スタンプが5個たまると特典がもらえるのですが、本来はスタンプラリーを楽しんでいただくことを目的としているので、5個たまると常に同じ特典がもらえるのです。全て5個たまればゴミ袋2枚と抽選券が1枚、また5個ためれば同じようにゴミ袋2枚と抽選券が1枚。

記者 ご朱印帳の名称ですが、申し訳ないですが、お寺からすると御朱印はスタンプラリーじゃないという強い意向があって、これを行政側がやると、こういう風な「スタンプラリー＝ご朱印帳」と名付けるのはより誤解を世間に招くのでは思うのですが、その辺はどうですか？

市長 お叱りをいただいたら、その時は私が謝ろうと思いますが、こういう趣旨でやらせていただくという事と、やっぱり当然、こういう場所とかイベントがあるというのを如何に知っていただいてなんぼというところがあるので、少し分かりやすいネーミングにはしたいなということで、こういう御朱印帳という名前になったということでもありますので、そういう視点やご意見はあるし、もしかしたらどのお寺さんから怒られるのかもしれませんが、その時は私が謝って趣旨を説明しに行きたいと思います。

記者 趣旨は極めて面白いと思います。ただ実際、朱印は無いし。これを見た時に最初、少なくとも朱印っぽいものをスタンプにしてるのかなと思って。それもないのに御朱印帳というのは誤解を、趣旨は理解できても、ただでさえさっきの意見があるのにさらに朱印じゃないという、少なくとも朱印であれば、まだ分からないでもないけど。

市長 また、アプリの会社と話して、そういう朱印っぽいスタンプみたいなものが、出来るかどうかですね。1年目で、すごく反響があって利用いただいたらそう言う事も相談したいと思いますし、お叱り

をいただいたら、きちんと説明して、それでも怒られるかもしれませんが。1つのシンボリックなものとしてやっていますが、ご指摘はちょっと頭に入れておきます。

記者 それは、面白いと思います。

記者 概要のところ子育て関連施設やイベント（計二十箇所）とありますが、施設でいうと何箇所が今現在登録されていて、イベントは今何箇所なのか内訳を教えてください。

市担当者 施設は3箇所、イベントが17箇所。イベントとしては図書館とかを施設にするというのは難しいのですが、図書館でやっていただくイベントとして考えさせていただくと施設は3箇所。

記者 イベントの方がスタンプをゲットできる場所が増えていくとは思いますが、施設に関しては3箇所からは増やすといいますか、その施設を新たにというのはないでしょうか。

市担当者 今年度としては、当初にこういう施設ですというのを見せた方が混乱も少なくてすむかなというところと、来年度増やしていくかというのは検討させていただこうかなとは思いますが、今年度は3箇所です。

市長 1年目に、活用いただけると我々は思ってますけども、その活用状況を見て、先程の朱印ぽく出来るかとか、場所ももうちょっと増やせるかとか、イベントも増やして20箇所今年はやってますけど、もう少し増やす、あまり増やしすぎてもあかんような気もしますが、何かそういう改善とかが出来ていったらいいなあと思います。

記者 3箇所というのは、みっきランド、はばたきみっき・小平尾南児童館の3箇所なんですね。

市長 これは、みっきランドとはばたきみっきで1つなの？

市担当者 みっきランドとはばたきみっきは同じカテゴリーなので、どちらに行っていただいても1つ。もう1つのカテゴリーがみっきランドのような拠点施設を保育園がやっていただいたりしますので、拠点施設を3箇所目ということで。

記者 園庭開放ってやつですか？

市長 子育て広場ってこと？

市担当者 ここには載せていませんが、拠点事業というのでチラシの裏面を見ていただいたら。

記者 うみ保育園とかもり保育園とかの。これは施設扱いなんですね、イベント扱いではなくて。

市担当者 そうですね。ずっと常時やっていただいている拠点施設になるので、そこにQRコードを常に置いていただく。

記者 常時やってるから場所扱いになる？

市担当者 そうです。

〔プレミアムノー残業デー クールアース・デー ライトダウン7月7日夜7時、市役所完全消灯〕

記者 市役所の完全消灯は、他の市役所や役場での例というのはどこにありますか。

市長 それはクールアース・キャンペーンに絡めてか、それに絡めなくてもという事ですか。例えば、普通のノー残業デーみたいな意味で完全に消灯してる所があるかということですか。あまり聞いたことないんですけど、調べてるのかな。

記者 聞いたことなければ、いいんだけど。

市長 多分、ないと思います。パソコンを切るとか、電気を切るみたいな話、どこかで、全国で1ヶ所か2ヶ所パソコンを切って強制的にシャットダウンするみたいなことをやってる所もあるというのは

聞いたことあります。あんまり、何時に完全に全部切りますということは。

記者 パソコンも全部切るんですか。

市長 生駒市の取り組みとしてはパソコンを切ることはありません。切るのは電気だけです。そういうパソコンを消したりしている自治体も確かどこかにはあると思いますが、多分、続いていないと思います。さすがに、やり過ぎという話だったので。電気を完全消灯する取り組みは、奈良県では少なくとも聞いたことないし、関西でもあんまりないので珍しい取り組みだと思います。完全に 7 時に切るというのは。

【「ららら」マルシェ」を加えて新しくなった生駒駅前 100 円商店街】

記者 100 円商店街でたこ焼き屋が何するか聞いてます？知ってます？

市担当者 聞いてないです。

記者 これって買ったことないですけど、税抜き。税込み。

市長 税込みです。だから 100 円しか払わないです。是非、お買い上げいただければ。だから消費税が上がった時にどうしようって話は確かあったはずですよ。

【プレミアムノー残業デー クールアース・デー ライトダウン7月7日夜7時、市役所完全消灯】

記者 プレミアムノー残業デーですけど、いわゆるプレミアムフライデーとかは、しないんですね。何となく市長の環境省つながりの発想なのかなあと、気がするんです。

市長 どちらかと言えば、初めクールアース・デーのライトダウンがあったところに、こういう残業あったら合わせてやった方がいいんじゃないかという、そんな感じですよ。プレミアムフライデーにどう対応するかについてはほとんど中でも議論していません。

記者 名前だけもらってるんじゃないかなと思って。

市長 初めはスーパーノー残業デーとか言ってたんですけど、プレミアムフライデーをもじるということでもないんですけど、せっかくなので。もじったらいいんじゃないかと。

記者 何となくですけど、役所って一般的に生駒市役所は別ですけど、結構 5 時半で終わって帰っている人が多いというイメージがある中で、7 時まで逆に点いているのかという、そういう世間のご意見もあるかなと思うんですけど。

市長 その議論は中でしたんですけど、先程申し上げたように 5 時 15 分から基本的には早く帰ってねという事を組合と一緒にやるというのが、まずあります。その上で、7 時には完全に切るということなので、基本的にはやっぱりノー残業デーですから 5 時 15 分に皆さん帰るとというのが原則ですけども、それでも最後の最後に電気を消すのは 7 時、そういう風に考えていただければいいんじゃないかと思います。

記者 そうなると、つまり普段、生駒市の職員は 7 時にも帰れないんだと。

市長 帰れない人もいるということですね、時期によっては。なるべく帰ってほしいですけど。

記者 世間で言う、9 時 5 時の職場ではないと。

市長 どっちの意味ですか。9 時 5 時がいいって言ってるのか、だめって言ってるのか。

記者 微妙なんですよ、だから。

市長 難しいですよ。難しいんですけど、7 時っていうのは結局残業してるやん 1 時間 45 分、という

話も確かにあって、うーんと考えたところあるんですが、さっき言ったように組合と一緒に5時15分から「ノー残業デー」の見回りをやります。職員はすごく頑張ってくれてるので、私もいろいろ新しい事もやっていこうとか、職員もどんどん新しい事していこうという風にやっていただいてもいいし、市民協働とかで結構忙しくなってるのは事実なんですけど、それでも残業せずにそれをきちんとやっていこうというのが大前提です。その上で、きちんとパフォーマンスを出してもらいたいということです。8時半に来て5時15分に帰るとというのが1番理想です。それでパフォーマンスが上がっているのであれば早く帰って何が悪い、と思ってます。

記者 非常に不思議な取り組みだなと思ったものですから。

市長 7・7・7（7月7日夜7時消灯）というのも1つかかなと思って。

記者 それも分かります。晴れてほしいですね。

市長 7時ってまだ明るいから、もっと遅くした方がいいんじゃないかとか、いろいろな議論があったわけなんですけど。7時にさせていただきました。

〔市民が先生 コミュニティセンターが1日限りの『街の学校』に！ だれもが学べる『IKOMAサマーセミナー』を初開催〕

記者 市民が先生『IKOMAサマーセミナー』なんですけど、詳細は7月1日の「いこまち」でということなんですけど、対象は市民なんですかね。

市長 それは講座を聞いていただく方のほうですか。

市担当者 基本、市民を原則とはしていますが、市民以外の方も来ていただくことも可能かなと考えております。

市長 先生の方は市民なんですか。市民以外の人もいるんですか。

市担当者 市民以外の先生もおられます。

市長 基本はやっぱり市民の方が先生、市民の方に来ていただくというのは想定してるんですけども、近畿大学と協定もあったりとか、いろいろなこれまでの連携をさせていただいてるような所から、面白い先生が来てくださることもありますので、市外の方もいらっしゃるとい、そんな感じです。

記者 これ時間割は7月1日まで僕たちも分からないということですか。

市担当者 7月1日に公表はさせていただこうかなとは思っております。今現在、ちょうど調整中ですので、出来かかってはいるのですが1日にきっちりとした形を出したいとは思っております。

記者 そこまでは、よく分からないわけですね。

市担当者 いろいろお話したいプログラムもあるんですけど、今ちょっとこの場では。

記者 市長は何時間目なんですか？

市長 決まってるなら私のは言ってください。

市担当者 市長は2時間目です。

市長 2時間目ですか？頑張ります。

記者 皆勤賞って何かもらえるんですか？

市担当者 皆勤賞なんですけども、学習・学校ということですので、学校に因んだような革のしおりを提供していただける業者さんがありましたのでサマーセミナー仕様に印字をしてもらうような形で考えております。

2. その他

〔奈良市長選への山下前市長の出馬表明〕

記者 では1つ、奈良市長選に前の山下市長が出てるみたいなんですけど、ご意見ご発言ありますか。

市長 特にはないです。

記者 例えば、選挙戦で支援するとか。

市長 まだ具体的に、私もそういう動きをしてないですし、具体的なお話もございませんし、今のところ正式に特に何か申し上げることはないですね。

(了)